

平成23年度「えひめ子どもスポーツITスタジアム」実施要項

愛媛県教育委員会

1 目的

ホームページを通じて楽しく競い合えるIT環境をつくることにより、児童の運動に対する興味関心を高め、楽しみながら継続的に運動に取り組ませ、体力の向上とスポーツへの参加意識の高揚を図るとともに、児童の体力向上に対する県民の意識の高揚を図ることを目的とする。

2 期間

(1) チャレンジ部門

平成23年4月11日(月)から平成24年2月10日(金) 13:00まで

(2) ポイント獲得部門

平成23年4月11日(月)から平成24年2月24日(金) 17:00まで

(3) 創作部門

平成23年4月11日(月)から平成24年1月31日(火) 17:00まで

3 対象

県内の小学生

4 ホームページアドレス

<http://www.its-ehime.jp>

5 部門及び種目

(1) チャレンジ部門

種 目	内 容
スローアンドキャッチラリー	3分間、1つのボールを使ってキャッチボールを行い、何回捕球できたかを競う。
チームジャンプ連続	連続回旋跳びで、なわを何回跳べたかを競う。
8の字ジャンプ5(ファイブ)	5分間、8の字跳びを行い、なわを合計何回跳べたかを競う。
チームリレー	1人が半周(約50m)を走るリレーで、1人あたりの平均タイムを競う。

※記録は、実施日もしくは実施日の翌日までに入力する。

(2) ポイント獲得部門 【エブリディスports】

種 目	内 容
みんなで逆上がり下り	各自20秒間ずつ逆上がり下りを行う。
みんなで縄跳び	各学級等、独自のプログラムで縄跳び運動を行う。
みんなでジャンプ	学級又は学年、縦割りグループ等全員で大縄跳びをする。
みんなでキック	2人組になり、対面でボールを蹴ってパスをする。低学年は

	5 m、中学年は7 m、高学年は9 m離れて行う。
みんなでランニング	各学級等、独自のコースで走る。
みんなでダンス	音楽に合わせて、5分程度、各学級等で作った独自のリズムダンスを行う。
みんなでリズム水泳	水中で音楽に合わせて、5分程度、各学級等で作った独自の運動を行う。
みんなでアスレチック	校庭などに設置されている遊具を使って活動する。

- ※ 学級（学年・学校・縦割りのグループなど可）全員で行うこととし、ポイントを獲得し、累計していく。
- ※ 1つの種目を行ったら、1ポイント獲得する。1日に複数の種目を行ってもよい。
- ※ 実施時間は、3分～5分程度とし、各種目によって設定する。
- ※ 参加した学級（学年・学校・縦割りのグループなど）に認定証を発行する。（表彰の対象にはならない。）
- ※ エブリディススポーツチェック表に日々の記録を記入し、学期ごとにログインして登録・更新していく。（日々更新も可能）2月24日の登録締切後、認定証交付申請書とエブリディススポーツチェック表を、愛媛県教育委員会保健体育課へ3月1日までに送付する。

（3）創作部門

種 目	内 容
レッツリズムダンス	学校、学年、学級やグループ等で創作したリズムダンスのコンテスト。
体力アップエクササイズ	学校、学年や学級等で行っている体力づくりの運動のコンテスト。

6 種目の説明

（1）チャレンジ部門

① スローアンドキャッチラリー

3分間、1つのボールを使ってキャッチボールを行い、何回捕球できたかを競う。

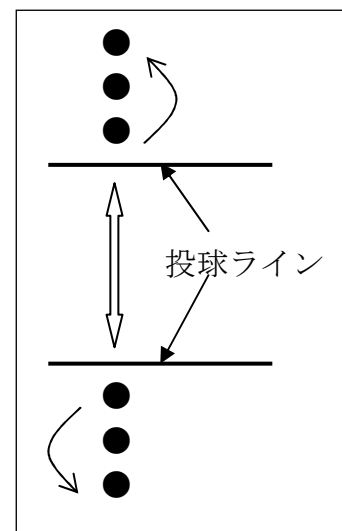
ア 準備

- ・ドッジボール（合成ゴム製）を使用するが、ボールの号球は自由とする。
- ・平面上に、投球ラインを示す2本の直線を引く。
 低 学 年：5 m間隔
 中 学 年：7 m間隔
 高 学 年：9 m間隔
 特別支援学級等：5 m間隔

イ 方法

- ・各グループがほぼ半数となるように2つに分かれ、投球ライン後方に縦1列で向かい合って並ぶ。
- ・計時の「はじめ」の合図で始め、3分間経った時

- 点で計時が「おわり」の合図をする。「おわり」の合図をした時点で、捕球した回数を記録とする。
- ・ファンブル後ボールを保持した場合も捕球とする。ただし、ファンブルした場合は、その人だけが取りに行き、ラインまで戻って続ける。
 - ・投球ライン内での捕球及び投球はしてはならない。ただし、ファンブルしたボールが投球ライン内に入った場合は、中に入ってボールを取りに行ってもよい。また、投球ラインを踏んだり、投球ラインの中に入ったりしてボールを投げた場合は、相手が捕球しても捕球回数には入れない。
 - ・投球はノーバウンドで相手に届くように投げることが望ましいが、バウンドしても、投球ライン後方でボールを捕球すれば捕球回数に入れることができる。
 - ・投球フォーム、助走及びステップの距離は自由とする。
 - ・投球後は、投球ラインの前方に入ってもよい。
 - ・投球後は、同じ列の後ろに並ぶ。
 - ・キャッチボールをする2人以外は、ボールに触れてはいけない。



ウ グループ編成

- ・通常学級は、学級全員をほぼ半数の2つのグループに分ける。
- ・12人未満の通常学級は、1つのグループで行う。
- ・6人未満の学級は、異学年の児童を加えて1つのグループで行う。この場合の記録は、構成人数の最も多い学年に登録する。（異学年同士が同数の場合は、上の学年で登録する。）
- ・特別支援学級等は、学級全員で1つのグループとして実施する。在籍数が1人の場合は、同学年の通常学級児童を1人加え、2人で行う。

エ 記録と参加人数

- ・2つのグループが捕球できた回数を合計し、その学級の記録とする。
- ・2つのグループの実施日は同日でなければならない。
- ・1グループで実施した場合は、記録を2倍した回数を登録する。
- ・特別支援学級等の記録は、1つのグループの回数とする。
- ・通常学級の参加人数は、2つのグループの参加児童数の合計とする。ただし、12人未満の通常学級は、1つのグループの参加児童数とする。

オ 実施上の注意事項

- ・実施場所は運動場または体育館とする。
- ・記録挑戦の際は、可能な限り複数の教員立会いのもと実施し、計時・審判は教員が行う。
- ・特別支援学級等は、児童の特性に応じて、教員が補助に加わったり、補助具を活用したりしても構わないこととする。

② チームジャンプ連続

連続回旋跳びで、なわを何回跳べたかを競う。

ア 準備

- ・長なわまたはなわ跳び用グリップ付き長なわ

イ 方法

- ・跳ぶ児童の並び方は自由とする。
- ・なわを回し、全員が跳ぶことができたなら1回とし、連続して跳ぶことができた回数を記録とする。
- ・10人以上のグループ内で少なくとも8人（児童）がなわを跳び、2人（児童）までなわを回すことができる。また、グループ全員（10人以上の児童）で跳んで、教員や保護者がなわを回してもよい。

ウ グループ編成

- ・学級全員を10人以上のグループに分ける。（選抜メンバーでの登録はできない。）
- ・複数のグループで行う場合、同一児童が別のグループに参加することはできない。
- ・9人以下の学級は、異学年の児童を加え、10人にして行う。この場合の記録は、構成人数の最も多い学年に登録する。（異学年同士が同数の場合は、上の学年で登録する。）
- ・特別支援学級等については、3人以上がなわを跳ぶグループを編成する。なわを跳ぶ児童が3人に満たない場合は、特別支援学級等に在籍する児童と同学年の通常学級児童を加え3人で行う。

エ 記録と参加人数

- ・学級で10人以上のグループを複数つくって行った場合は、各グループの跳んだ回数の合計をグループ数で割り、その平均回数を学級の記録とする。平均回数が小数となった場合は、小数第1位を切り捨て、整数とする。
- ・1つのグループで実施した場合は、そのグループが跳んだ回数を学級の記録とする。
- ・特別支援学級等は、3人以上のグループを複数つくって行った場合は、グループの中で最も多い回数を記録とする。参加人数は、そのグループの人数とする。
- ・複数のグループで実施した場合、実施日はすべて同日でなければならない。
- ・通常学級の参加人数は、各グループのなわを跳んだ児童数の合計とする。ただし、児童がなわを回した場合は、なわを跳んだ児童数となわを回した児童数の合計とする。教員、保護者等の数は含めない。

オ 実施上の注意事項

- ・実施場所は運動場または体育館とする。
- ・使用するなわの長さや種類は自由とする。
- ・なわを回す人は、児童、教職員または保護者とし、手袋等を着用してもよい。

- ・記録挑戦の際は、可能な限り複数の教師立会いのもと実施し、計時・記録は教師が行う。
- ・特別支援学級等は、児童の特性に応じて、教員が補助に加わったり、補助具を活用したりしても構わないこととする。

③ 8の字ジャンプ5（ファイブ）

5分間、8の字跳びを行い、縄を合計何回跳ぶことができたかを競う。

ア 準備

- ・長縄または、跳び用グリップつき長縄
- ・ストップウォッチ

イ 方法

- ・「はじめ」の合図までは、跳ぶ児童は縄の外に出ておく。
- ・計時の「はじめ」の合図で縄を回し始める。1人が入って1回跳んで出る。次の人が入って1回跳んで出るという跳び方で順々に入って跳んで出ていくという運動を行う。タイミングが合わず、空回旋になってもかまわない。
- ・縄にかかって失敗した場合、跳び直しをせず次の児童から跳び続ける。
- ・5分たった時点で計時の「終わり」の合図をする。5分以内であれば、途中で失敗した場合、すぐに縄をまわし始め、次の児童が入って跳ぶ。跳んだ回数を加算していく。
- ・跳ぶ児童の並び方は自由とするが、途中で順番を変えてはいけない。また、全員が一通り跳び終えたら、2順目は、逆の場所から縄に入り、全員の移動が回転する縄を中心に8の字になるように動く。
- ・教員や保護者等が縄を回しても良い。

ウ グループ編成

- ・人数の制限はなく、学級等全員で行う。
- ・複数の学年で行った場合は、構成人数の最も多い学年に登録する。（異学年同士が同数の場合は、上の学年に登録する。）

エ 記録と参加人数

- ・「1、2、3」と跳んでいて、「3」で失敗した場合は、次は「3、4、5・・・」と数え始め、失敗したときの回数を含めない。
- ・縄1回旋に対して、児童が1回縄を跳んだ場合1回と数え、加算していく。
- ・通常学級の参加人数は、児童が縄を回した場合は、縄を跳んだ児童数と縄を回した児童数の合計とする。教員、保護者等の人数は含めない。

オ 実施上の注意事項

- ・実施場所は運動場または体育館とする。
- ・使用する縄の長さや種類は自由とする。
- ・縄を回す人は、児童、教職員または保護者とし、手袋等を着用しても良い。
- ・記録挑戦の際は、可能な限り複数の教師立会いのもと実施し、記録・計時とも

教師が行う。

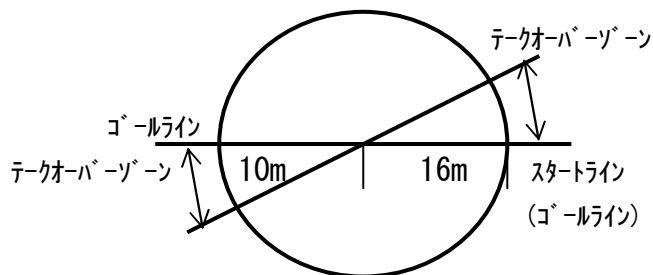
- ・特別支援学級等は、児童の特性に応じて、教員が補助に加わったり、補助具を活用したりしても構わないこととする。

④ チームリレー

1人が半周（約50m）を走るリレーで、1人あたりの平均タイムを競う。

ア 準備

- ・バトン
- ・平坦な地面上に半径16mの円（円周約100.5m）、スタートライン、ゴールライン及びテイクオーバーゾーンを設定する直線を引く。
- ・運動場の形によって円が設営できない場合は、1周100mのトラックを利用してもよい。その場合、テイクオーバーゾーンは直線上とする。



イ 方法

- ・走る順番は自由とする。
- ・スタートの方法は、スタンディングスタートとする。
- ・計時のスタートの合図から、最終走者のトルソー（胴体の一部）がゴールライン上に到着するまでにかかった時間を計測する。
- ・バトンの引き継ぎは、テイクオーバーゾーン（円周上の距離で10m）で行う。それ以外でバトンの引き継ぎを行われた場合は、やり直しとする。

ウ グループ編成

- ・学級全員が参加し、4人以上のチームでリレーを行う。複数のチームができた場合、同一児童が別のチームで参加することはできない。
- ・4人未満の学級は、異学年の児童を加えて行う。この場合の記録は、構成人数の最も多い学年に登録する。（異学年同士が同数の場合は、上の学年に登録する。）
- ・特別支援学級等は、学級全員で1つのグループとして実施する。在籍数が1人の場合は、特別支援学級等に在籍する児童と同学年の通常学級児童を加えて4人で行う。

エ 記録と参加人数

- ・タイム測定は、百分の一秒までとする。
- ・1人あたりの平均タイムを算出する際には、千分の一秒を切り上げ、百分の一秒までとする。
- ・複数のチームができた場合、各チームのタイムを合計し、参加人数で割って、

- 一人当たりの平均タイムを登録する。
- 参加人数は、走った人数とする。

オ 実施上の注意事項

- 実施場所は運動場等とする。
- バトンは、原則としてプラスチック製のバトンを使用する。
- 記録挑戦の際は、可能な限り複数の教師立会いのもと実施し、計時・審判は教員が行う。
- 特別支援学級等は、児童の特性に応じて、教員が補助に加わったり、補助具を活用したりしても構わないこととする。

(2) ポイント獲得部門 【エブリディスports】

8 種目の運動を学級（学年・学校・縦割りグループなど）全員で行うことでポイントを獲得していく。

実施方法

- それぞれの種目に、学級（学年・学校・縦割りのグループなど）全員で行う。（1日に複数の種目実施可）
- 実施時間は3～5分程度とする。（手軽に負担なく実施できる時間）
- どの種目でも、実施したら1ポイント獲得する。
- 日々の取り組みを、別紙エブリディスportsチェック表に記入、随時HPに登録し、更新する。
- 年間を通して、どの時期にどの種目を行っても良いが、時期を考慮したり、成果をあげるため計画的に行うことが望ましい。
- ポイントを多く獲得しても、表彰の対象とはならないが、参加した学級（学年・学校・縦割りのグループなど）すべてに認定証を出すこととする。認定証については、認定証交付申請書とエブリディスportsチェック表を各学校から県教委保健スポーツ課へ提出し、県教委保健スポーツ課から市町教育委員会を通して、各小学校に配布する。

種 目

【① みんなで逆上がり下り】

- 一斉（ペアかグループ）に20秒間（20秒ずつ）逆上がり下りを行う。
- 計時は教師が行う。

【② みんなで縄跳び】

- 跳ぶ技は自由とする。（プログラムは、各学校等で工夫する。）
- 低学年は3分間、中学年は4分間、高学年は5分間行う。
- 計時は教師が行う。

【③ みんなでジャンプ】

- 学級（学年・学校・縦割りグループなど）全員で大縄跳びをする。
- 低学年は3分間、中学年は4分間、高学年は5分間行う。

- ・計時は教師が行う。

【④ みんなでキック】

- ・2人組になり、対面でボールを蹴ってパスをする。自分に来たボールは足で止めて、蹴る。または、来たボールを止めずにダイレクトに蹴ってもよい。
- ・低学年は3分間、中学年は4分間、高学年は5分間行う。
- ・低学年は5m、中学年は7m、高学年は9m離れて行う。
- ・コースがそれて、ボールが離れていったときは、ボールをとりにいって、手で持ってキックラインにボールを置いて再開する。
- ・計時は、教師が行う。

【⑤ みんなでランニング】

- ・走るコースは、各学校の実情に応じて設定する。
- ・低学年は3分間、中学年は4分間、高学年は5分間走る。
- ・計時は、教師が行う。

【⑥ みんなでダンス】

- ・音楽に合わせて、5分程度、各学級（学年・学校・縦割りグループなど）で独自に作ったダンスを行う。

【⑦ みんなでリズム水泳】

- ・水中で音楽に合わせて、5分程度、各学級（学年・学校・縦割りグループなど）で独自に作った運動を行う。

【⑧ みんなでアスレチック】

- ・校庭などに設置されている遊具を使って活動する。
- ・低学年は3分間、中学年は4分間、高学年は5分間活動する。

※特別支援学級等は、児童の特性に応じて、教師が補助に加わったり、補助具を活用しても構わないこととする。

(3) 創作部門（5分程度）

① レッツリズムダンス

- ・学校で創作したもので、学年、学級及びグループ等で運動会や業間、体育科の学習等で実施したものとする。
- ・創作者は、教師あるいは児童等とする。

② 体力アップエクササイズ（10分程度）

- ・学校、学年及び学級等で実施したものとする。
- ・創作者は、教師あるいは児童とする。
- ・実施期間や時間に制限はないが、計画的に実施されているものとする。

※創作部門に参加した全ての団体に、作品についての講評（アドバイス）を返送します。（体育等の学習活動の参考にしてください。）

7 実施上の留意点

(1) 全般的な留意点

練習や記録挑戦にあたっては、休み時間や業間、放課後等に、教師の指導のもと、児童が主体的に活動できるように配慮すること。また、児童の健康観察、施設及び用具の点検等、安全に十分留意して実施すること。

(2) チャレンジ部門の記録の登録及び更新について

記録の登録及び更新については、「利用の手引き」を参照し、「えひめ子どもスポーツ I T スタジアム」ホームページにある「チャレンジ部門 記録登録・更新」ページにて行う。

※ 「利用の手引き」は、「えひめ子どもスポーツ I T スタジアム」ホームページから、ダウンロードすること。

※ 「えひめ子どもスポーツ I T スタジアム 学校コード・パスワード」については、各小学校に直接通知する。

① 記録の更新

随時更新することができる。(記録の更新及び参加種目の追加を含む。)

② 記録の登録及び記録の更新の締切

平成24年2月10日(金) 13:00

③ 月間賞について

平成23年度から、チャレンジ部門の各種目の上位3位以内の参加団体(各学年)に月間賞を授与する。対象期間は、4月～1月とする。(年間を通して1位の参加団体について、従来通り表彰状を授与する。)

各月末にホームページに更新された最終データから各種目・各学年ごとに上位3位以内の参加団体を確認し、翌月のお知らせ情報に掲載するので、該当学校は、ホームページから月間賞の様式をダウンロードし、各学校において表彰するなどして活用ください。

(3) ポイント獲得部門 「エブリディスports」の登録及び更新について

記録の登録及び更新については、「利用の手引き」を参照し、「えひめこどもスポーツ I T スタジアム」ホームページにある「ポイント獲得部門 エブリディスports 記録登録・更新」ページにて行う。

日々の記録については、エブリディスportsチェック表をダウンロードし記入していく。随時HPに登録し、更新する。

また、登録終了後、認定証交付申請書とエブリディスportsチェック表を愛媛県教育委員会保健体育課へ送付する。

① 提出先

愛媛県教育委員会保健体育課学校体育係

〒790-8570

松山市一番町4丁目4-2

② 認定証交付

参加した全ての学級（学年及び学校）に、認定証を交付する。ただし、学期ごとの登録及び入力と1年間の累計ポイントを示した認定証交付申請書とエブリディススポーツチェック表を提出しなければならない。

認定証交付申請書とエブリディススポーツチェック表を確認後、市町教育委員会を通じて各学校に認定証を送付する。

③ 記録の登録及び記録の更新の締切

平成24年2月24日（金）17:00

④ 認定証交付申請書及びエブリディススポーツチェック表提出締切

平成24年3月1日（木）17:00

（4）創作部門の参加の登録及び作品等の応募について

参加の登録については、「利用の手引き」を参照し、「えひめ子どもスポーツITスタジアム」ホームページにある「創作部門 登録・更新」ページにて行う。

① 提出物

ア レッツリズムダンス

- ・ 「レッツリズムダンス 申請書」は、ホームページからダウンロード可
- ・ 作品を収録したDVD-R（5分程度のもの）
→1つのDVD-Rに2つ以上の団体（作品）が含まれる場合は、団体（作品）数分の申請書を提出すること。

イ 体力アップエクササイズ

- ・ 「体力アップエクササイズ 申請書」は、ホームページからダウンロード可
- ・ 活動を収録したDVD-R（10分程度のもの）
→1つのDVD-Rに2つ以上の団体が含まれる場合は、団体数分の申請書を提出すること。

ウ 提出上の留意点

- ・ 送料は、各学校負担とし、提出されたDVD-R及び資料等は返却しない。
- ・ 提供された資料は、研修会やホームページ等で公開することもあるので、資料掲載の可否について申請書に記入すること。
- ・ DVD-R撮影時は、児童の表情や細かい動きが分かる作品を提出する。また、音楽が十分聞こえるように工夫して収録する。
（運動会ダンス等、屋上からの撮影は審査が困難なので、工夫し、必要に応じて人数を限定しての撮影も可）

② 提出先

愛媛県教育委員会保健体育課学校体育係

〒790-8570

松山市一番町4丁目4-2

③ 提出期限

平成24年1月31日（火） 17:00

8 審査

(1) チャレンジ部門

- 通常学級は、種目及び学年ごとに、記録が高い順に順位を付ける。
- 特別支援学級等は、学年別にはせず、種目ごとに記録の高い順に順位を付ける。
- 同記録の学級が2つ以上ある場合は、参加人数が多い方を上位とする。参加人数も同じ場合は、実施日が早い方を上位とする。参加人数も実施日も同じ場合は、同順位とする。

(2) ポイント獲得部門 【エブリディスポーツ】

審査の対象としない。

(3) 創作部門

審査は、「えひめ子どもスポーツ I T スタジアム」審査委員会において行う。

< 「えひめ子どもスポーツ I T スタジアム」審査員 > (予定)

- ・ 大学関係者 2名
- ・ 小学校長（愛媛県小学校体育連盟会長） 1名
- ・ 小学校教諭（愛媛県小学校体育連盟理事長他） 複数名
- ・ 保健体育課指導主事 3名

種 目	審 査 基 準
レッツリズムダンス	・ 音楽の雰囲気に合わせて軽快な動きや豊かな表情 ・ 友だちとのかかわり合い ・ ダンス全体の構成 ・ 振り付けや動きの独創性
体力アップエクササイズ	・ 児童の実態に応じている ・ 学校や地域の施設や環境等を生かしている ・ 友だちとの豊かなかかわり合いがある ・ 計画的、継続的に行うことができる

9 表彰

(1) チャレンジ部門

① スローアンドキャッチラリー

- ・ 各学年1位 賞状、トロフィー（1年生から6年生 計 6学級）
- ・ 各学年2位から6位 賞状 （1年生から6年生 計30学級）
- ・ 特別支援学級等1位 賞状、トロフィー（1学級）
- ・ 特別支援学級等2位から6位 賞状 （5学級）

② チームジャンプ連続

- ・ 各学年1位 賞状、トロフィー（1年生から6年生 計 6学級）

- ・ 各学年 2 位から 6 位 賞状 (1 年生から 6 年生 計 30 学級)
- ・ 特別支援学級等 1 位 賞状、トロフィー (1 学級)
- ・ 特別支援学級等 2 位から 6 位 賞状 (5 学級)

③ チームジャンプ 5 (ファイブ)

- ・ 各学年 1 位 賞状、トロフィー (1 年生から 6 年生 計 6 学級)
- ・ 各学年 2 位から 6 位 賞状 (1 年生から 6 年生 計 30 学級)
- ・ 特別支援学級等 1 位 賞状、トロフィー (1 学級)
- ・ 特別支援学級等 2 位から 6 位 賞状 (5 学級)

④ チームリレー

- ・ 各学年 1 位 賞状、トロフィー (1 年生から 6 年生 計 6 学級)
- ・ 各学年 2 位から 6 位 賞状 (1 年生から 6 年生 計 30 学級)
- ・ 特別支援学級等 1 位 賞状、トロフィー (1 学級)
- ・ 特別支援学級等 2 位から 6 位 賞状 (5 学級)

(2) ポイント獲得部門 【エブリディスポーツ】

表彰の対象としない。

(3) 創作部門

① レッツリズムダンス

- ・ 最優秀賞 1 団体 賞状、トロフィー
- ・ 優秀賞 5 団体 賞状

② 体カアップエクササイズ

- ・ 最優秀賞 1 団体 賞状、トロフィー
- ・ 優秀賞 5 団体 賞状

(4) 表彰式

① 日 時

平成 24 年 3 月 3 日 (土) 10:30~

② 場 所

愛媛県武道館 主道場

③ 対 象

<チャレンジ部門>

通常学級各種目各学年 1 位学級 (計 24 学級)

特別支援学級等各種目 1 学級 (計 4 学級)

<創作部門>

各種目最優秀の団体 (計 2 団体)

④ 参加者

<チャレンジ部門>

学級担任及び代表児童 (代表児童は、学校の希望により複数名参加可)

<創作部門>

担当者及び代表児童（代表児童は、学校の希望により複数名参加可）
※ 参加者の旅費は、各学校負担とする。

（５）その他

表彰式に参加できない表彰対象校は、市町教育委員会を通じて各学校に賞状等を送付する。

10 記録等の公開

「えひめ子どもスポーツ I T スタジアム」ホームページ上で公開する。

アドレス <http://www.its-ehime.jp>

11 その他

（１）取組状況の資料提供

子どもたちが「えひめ子どもスポーツ I T スタジアム」に取り組んでいる様子や成果等に関わる資料を各学校から提供してください。

なお、送料につきましては、各学校負担とするとともに、提出資料等は返却しないことを了承してください。

① 資料について

「えひめ子どもスポーツ I T スタジアム」への取組に関わる資料

- ・写真
- ・作文
- ・エピソード
- ・学級、学年、学校通信
- ・児童の感想
- ・学級担任の感想
- ・保護者の感想 等

※ 提供された資料は、ホームページで公開しますので、保護者等に資料提供についての承諾をとってください。

② 資料送付先

愛媛県教育委員会保健体育課学校体育係

〒790-8570

松山市一番町4丁目4-2

（２）問い合わせ先

「えひめ子どもスポーツ I T スタジアム」に関するお問い合わせは、次のところにお願ひします。

愛媛県教育委員会 保健体育課 学校体育係

TEL 089-912-2982

FAX 089-912-2979

E-mail hokensupotsu@pref.ehime.jp